

■天草市のがんの状況は？

◆平成22年度死亡原因

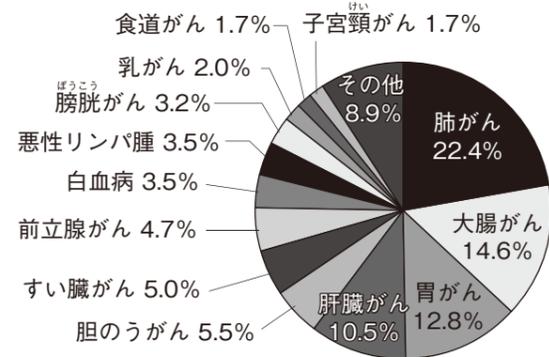
| | | |
|----|-------|------|
| 1位 | がん | 343人 |
| 2位 | 心疾患 | 234人 |
| 3位 | 脳血管疾患 | 148人 |
| 4位 | 肺炎 | 136人 |
| 5位 | 老衰 | 83人 |

◆平成22年度がん分類別死亡状況

| | | |
|----|-------|-----|
| 1位 | 肺がん | 77人 |
| 2位 | 大腸がん | 50人 |
| 3位 | 胃がん | 44人 |
| 4位 | 肝臓がん | 36人 |
| 5位 | 胆のうがん | 19人 |

天草市での死亡原因では、がんが1位になっており、がんによる死亡者数は年々増加傾向にあります。

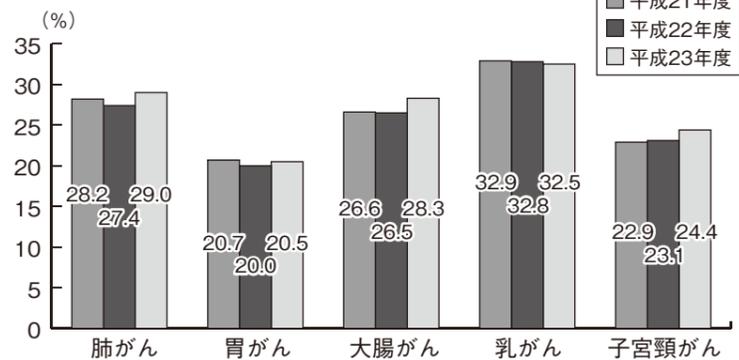
また、がんによる死亡者の内訳を部位別に見ると、肺がんがもっとも多く、次いで大腸がん、胃がん、肝臓がんの順になっています。



出典：平成22年度熊本県衛生統計年報

■天草市ではどれだけの方ががん検診を受けているのでしょうか？

◆がん検診受診率



出典：市健康増進課調べ

◆市の検診におけるがん発見者数

(単位：人)

| | 肺がん | 胃がん | 大腸がん | 乳がん | 子宮頸がん | 肝・腎・前立腺など |
|--------|-----|-----|------|-----|-------|-----------|
| 平成21年度 | 10 | 6 | 12 | 8 | 7 | 32 |
| 同22年度 | 9 | 18 | 20 | 13 | 2 | 21 |
| 同23年度 | 6 | 9 | 15 | 18 | 0 | 23 |

出典：市健康増進課調べ

市のがん検診の受診状況は、対象者の約2割から3割にとどまっており、低い状況となっています。特に、死亡割合が高い胃がんの検診は、市の検診の中でもっとも低くなっています。

また、市の検診におけるがん発見者数は、ここ3年間で大腸がんや乳がん、胃がんが多くなっており、特に乳がんは年々増加傾向にあります。

腹部超音波検診での発見が多い肝臓やすい臓、胆のうがんや、前立腺がん検診で発見される前立腺がんも、年々多くなっています。

がんはどんな病気？

- 1 正常な細胞がさまざまな要因によって傷ついて、突然変異を起こすことから始まります。
- 2 突然変異した細胞が増殖し、がん化します。
- 3 がん化した細胞は無秩序に増え続けて、周囲の組織や臓器にまで広がっていきます(浸潤)。
- 4 さらに進行すると体の別の場所に移動をはじめます(転移)。
- 5 発生したがん細胞が、がんといわれる病気になるまでに10~20年以上かかります。初期のがんは痛みなどがなく、無症状なことが多いです。
- 6 がんが増殖してくると周囲の組織に刺激を与えたり、破壊したりして痛みが強まってきます。
- 7 がんは体のエネルギーや栄養分を奪ってしまうので、体重が減ったり、疲れを感じたりする全身症状が出てきます。

昭和56年以降、がんは日本人の死亡原因の第1位です。平成22年にがんて亡くなった日本人は約35万人にのぼり、今や国民の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんて亡くなる時代を迎え、がんは国民病の一つになりました。今号では、がんの予防・検診の必要性などについてお知らせします。

がん検診を受診しましょう！